

◆ **番組を見るときに心がけたいこと**

- ① 番組をみる準備をしよう(ノートやえんぴつはあるかな?トイレはすませてね。おやつもガマン)
- ② 番組をみよう(10分間 集中しよう)
- ③ 自学シートにそって番組を振り返り ワークシートに記入しよう

◆ **用意するもの**

- えんぴつ
- ワークシート

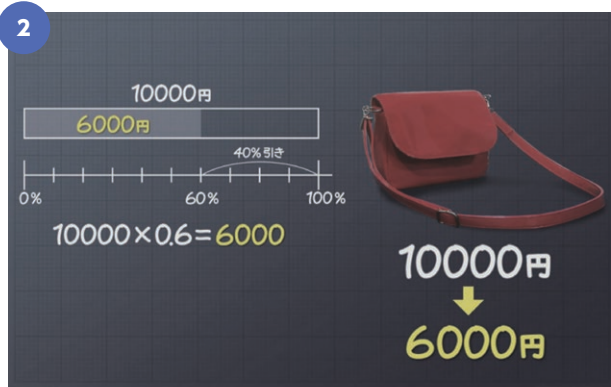
この番組の学ぶべきポイント

★テレビショッピングはどんなカラクリを使って400円分高く請求することができたのかな?★

ポイント：割合が同じでも もとにする量が変わると比べられる量も変わる



「20%引きのさらに20%引き」
この言葉に
カラクリがかくされているよ



「20+20で40%引き」という意味なら
 $10000 \times (1 - 0.2 - 0.2)$
 $= 10000 \times 0.6$
 $= 6000$
だから
バッグの値段は6000円になるね

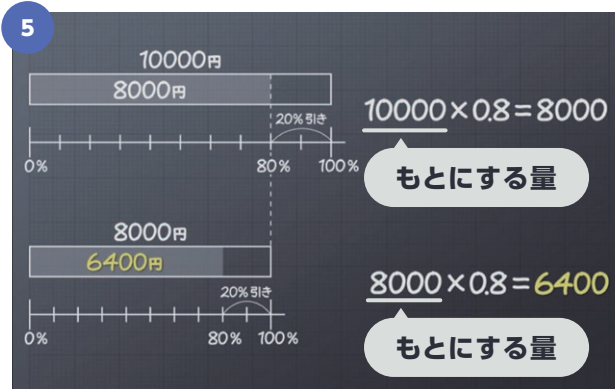


でも 実際の値段は 6400円だった
なんでだろう?



ヒント

お話の順番に計算していくと
もとにする量が変わるよ!



すると…定価10000円のバッグは

1回目の20%引きで ? 円

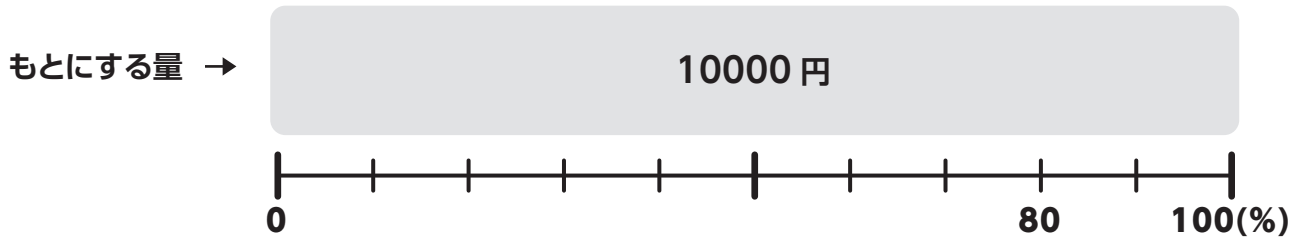
2回目の20%引きで ? 円

になる

ワークシートに記入してみよう!

次の のなかに数字を入れましょう。

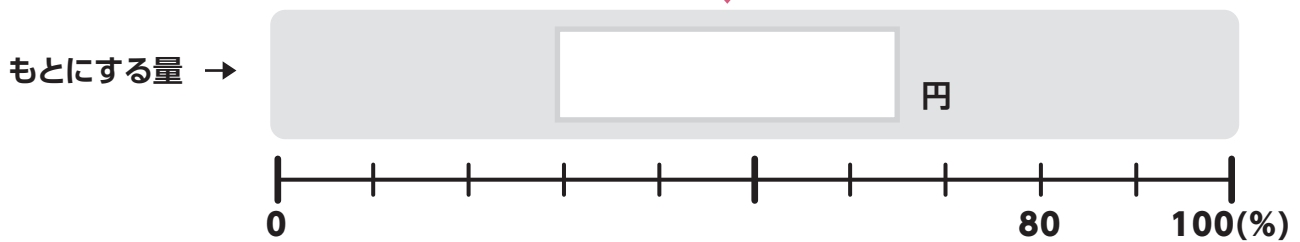
1 まず、1回目の20%引き



式 $10000 \times (1 - 0.2)$
 $= 10000 \times 0.8$
 $=$ 1回目の20%引きで... 円

2 つぎに、2回目の20%引き

1回目の値引きで求めた金額がもとにする量になるから...



式 $\times (1 - 0.2)$
 $=$ $\times 0.8$
 $=$ 2回目の20%引きで... 円

次の のなかに数字を入れましょう。

1 まず、1回目の20%引き

まず、1回目の値引きでは、もとにする量が10000円だから…

もとにする量 →

10000 円



$$\begin{aligned} \text{式} \quad & 10000 \times (1 - 0.2) \\ & = 10000 \times 0.8 \end{aligned}$$

20%引きは、 $1 - 0.2 = 0.8$ で、もとにする量の80%のこと

$$= \boxed{8000}$$

1回目の20%引きで… 円

2 つぎに、2回目の20%引き

つぎに、2回目の値引きでは、もとにする量が8000円だから…

同じ「100%」でも、1回目と2回目で量が違うよ

もとにする量 →

円



$$\text{式} \quad \boxed{8000} \times (1 - 0.2)$$

ここも1回目と同じ。20%引きは、 $1 - 0.2 = 0.8$ で、もとにする量の80%のこと

$$= \boxed{8000} \times 0.8$$

$$= \boxed{6400}$$

2回目の20%引きで… 円